

徹貫 争闘産減 8・31 砕粉「本柱」三 切首



84. 8. 29

No. 1729

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

8/27 支部代

当面する8・9月 争闘を決定



動労千葉は8月27日、第九回支部代表者会議を開催し、この間の闘いの総括と当面する8・9月闘争の取り組みについて次のとおり決定しました。



基地統廃合、職場規律攻撃を
はね返そう

中曽根の侵略戦争にむけた「戦後政治の総決算」攻撃は、階級情勢の焦点、国鉄と三里塚に対してすさまじい攻撃として襲いかかっています。

成田用水を突破口とする三里塚二期強行着工のつまりと同時に、8月10日、再建監理委員会は87年「分割・民営化」を基本にそれまでの間に10万人、実に3人に1人の首切りを発表し、本格的な国鉄労働運動解体攻撃を開始しました。

具体的攻撃としては「60・3」ダイ改合理化にむけた基地統廃合「過員」、職場規律攻撃が動労「本部」革マルを先兵に当局と一体となつてかけられてきています。

動労千葉はこの間の取り組み、とりわけ「過員対策」と称する「営業への転勤」要員センター」攻撃をはね返した闘いを教訓化し、組織体制のさらなる強化をかちとらねばなりません。

当面する取り組み

1. 首切り「三本柱」阻止8・9月闘争について首切り「三本柱」粉碎、国鉄分割・民営化阻止、国鉄労働運動解体攻撃粉碎へ向けた第一波闘争を国労闘争と共同の闘いとして次の通り闘う。
 - (1) 闘いの目標
 - ① 9月1日以降の「依願休職」募集中止、団体交渉による解決
 - ② 60才まで勤務できる退職・在職条件の整備
 - ③ 民託作業の直営化、「車両検査周期の延伸及び検査体系の見直し」提案撤回
 - ④ 動乗勤改善協定の「60・3」実施の延期
 - ⑤ 基地統廃合反対
 - ⑥ 木原線廃止反対
 - (2) 戦術
 - ① 8月31日、0時～12時まで全支部において全本線乗務員を対象とする減産闘争A行動
 - ② 全地上勤務者を対象とする減産闘争B行動
 - ③ 本部―支部の綿密な連絡体制を確立し、B変作業など国労スト破壊となるようなことを

しないのはもちろん、動労千葉への闘争破壊攻撃を粉碎する闘いを貫徹する。

(4) 減産闘争貫徹へ向けた取り組み

① 執行委を開催し闘いの意義、目的等について全体化するための職場集会、個別オルグを実施する。

② 9月1日以降の「依願休職」募集の中止について現場長交渉で追及する。

③ ワッペン闘争を再点検し、一〇〇%着用体制強化

④ 千葉転、佐倉、成田、銚子支部は8月30日役員、活動家を中心にする城体制を確立

2. 高令者に対する組織対策として、当面56才以上の全組合員を対象に次のとおり集会を開催し、50才以上を対象に順次取り組むこととする。

日時 9月3・4日、各日13時より

場所 動力車会館

対象者 56才以上の組合員及び関係支部長

3. 基地統廃合問題、検修合理化、内達―動乗勤関連等「60・3」をめぐる闘い、運転保安確立の闘い、動乗関係職制改正に対する取り組み等については、申12・17号による団体交渉を行い問題点の解明と要求の前進を図る。

4. 全斗換の来日は米、韓、日の軍事同盟を強化し、アジア・朝鮮侵略戦争を開始せんとする恐るべき策動であり、軍事政権下で不屈に闘う朝鮮人民と連帯し阻止するため次の通り取り組む。

日時 9月6日 11時

場所 多摩川緑地公園（京浜急行六郷土手）

主催 東京実行委員会（下車）

5. 三里塚二期着工の具体的攻撃として「用水強行」情勢がつまりつつある。反対同盟は「5・20」以降の連続決起で着工を阻止しつつ「10・10 全国総決起集会」への大結集を呼びかけている。第九回臨時委員会の確認にもとづき、いついかなるときも支援にかけつけることのできる体制を堅持することとする。

6. 学園を突破口とする「職場規律」攻撃については、学園協を中心に引き続き厳しく対処する。